



今月の一枚

紅白の枝垂れ梅に降る小雪と蓮如上人像（2月18日、順慶寺境内にて 岡川経康氏撮影）

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2021年(令和3年)

3月号
VOL.329

◆◆ 三方笑みの蓮師像 ◆◆

順慶寺の境内にある蓮如上人像は、建立された当初より、順慶寺に来られた方を迎え入れ、もてなし、本堂に誘うよう、見ておられると評判だった。よく見ると、山門、境内、本堂のどこからでもお顔を拝することができ、今日も参詣者を迎え入れてくださっている。

◇ 死んだら仏になれるのか ◇

今月の釈尊の言葉は、『法句経』（ダンマパ

ダ）より、

「自分を愛おしく思うならばよく自制せよ。」

「ころあるものは、

人生③三期のうち一期でも

きびしく己を省みよ」（第一五七偈）

というお言葉からの出典です。

私たちは、私を大切にすあまり、自分を

甘やかし、ついわがままを強めてしまっています。

また、自己愛から、自分だけ良ければよいと思

いこみ、周りを傷つけ、苦しみのもとを作っ

ています。自らの業にもかかわらず、自らに

ふりかかった災難には、他人の仕業と邪見し、

悪口や愚痴が出てしまう。家族や社会の中で、

こうした状況が続けば、やがて毎日が暗いも

のようになっていきます。

そんな中でも、道を説く教えは、死んでか

らの話で、生きている間には、あまり関係ない、

と考える向きがあります。こうした考えに對

今月のブツダの言葉

今からでよい

自らの命をしっかりと生きよう



若院のテーマカット NO.24



して、上座部仏教の③スマナサーラ長老は、

「世の中には、人は死んだら神や仏になると

いう考え方があります。仏教徒の立場から言

えば邪見です。それ自体が自己破壊的な考え

だからです。死んだ人が、神や仏になるとい

うならば、この世でどんな生き方をしてもよ

いことになります。これは仏教の教えに矛盾

します」（『法句経』一日一悟）より）

と指摘します。

仏教では、自らを省みて、欲や自己愛から

苦しみを作らず、多くのご縁で支えられてい

る身を喜ぶよう、つねに教えています。

◇ 生き方を見直すこと ◇

「末法五濁の有情の行証かなわぬときなれば釈迦の遺法ことごとく龍宮にいりたまいにき」

(正像末和讃)

親鸞聖人は、最晩年、自身の息子・善鸞を義絶することになり、その身を切るような苦しみにも、何も手がつかなくなり、何となく、何となく書けたのが『正像末和讃』です。

この和讃の冒頭では、お釈迦様が亡くなられて二千年の時が過ぎ、修行に邁進するものや悟りに到るものが無くなり、大切な仏法までも遙かに遠い竜宮城に行ってしまったように嘆いておられます。

少しばかりいいことをして、それがたまたまうまくいったということ

①三期

インドでは古来バラモン教の習わしにより、人生の区分を四つの時期(四住期)にわけている。

(1)学生期 二十五歳くらいまで。よく学び、体を鍛えるとき。

(2)家住期 五十歳くらいまで。仕事に励み、家庭を維持するとき。

(3)林住期 七十五歳くらいまで。仕事を離れ、真の生きがいを探るとき。

(4)遊行期 七十五歳以降。自らの死

で、浮かれて毎日をごす。修行する者も、分かったつもりのも、その世界に閉じこもり自己満足してしまふ。すると、あつという間に時が過ぎ、白髪となって、何も分からず右往左往する自らに気づき、慌てふためく。時すでに遅く、周りに知る人も教えてくれる人もなく、ただただ孤独に苦しむ。これが竜宮城の話で表されているように思います。

親鸞聖人は、最晩年になって息子を義絶し、息子ですら仏法の道を歩ませることができなかった身に苦しみ、再び師・法然上人の教えを徹底的に学び直されました。そして、この和讃を記されたのです。

親鸞聖人から、いつからでも遅くない、自らを照らす智慧の光を見出したならば、それを求めて生きていきなさいと教えられる。

に方について考えるとき。

三期とは、(1)から(3)までを言う。

②アルボムツレ・スマナサーラ

一九四五年四月、スリランカ生まれ。スリランカ仏教界長老。十三歳で出家得度。国立ケラニヤ大学で仏教哲学の教鞭をとる。一九八〇年に来日。駒澤大学大学院博士課程を経て、現在は日本テラワダ(上座部)仏教協会にて初期仏教の伝道と瞑想指導に従事し、ブツダの根本の教えを説き続けている。



《第十一回 亡き人と出会う》
先日部屋の隅にあった老院の法話レジュメを見つけたので読んでみました。
読む中で新たな発見や気づきも多々ありましたが、生前老院はこんなことを言っていた、あんなことを教えてもらった、と老院との思い出がよみがえりました。
老院と話すことはかありませんが、老院からの呼びかけは自分に届いている。そう感じました。

佳帆子
卒業式に涙。コロナで
も大学でガンバルわ。

念仏を欲ぶ人
妙好人の世界
[第102回]
《味おうてくれ》
ものだねきちべえ
物種 吉兵衛
(10)

《西方寺様へ飛んでいく》

堺の妙好人・吉兵衛。その聞きの強さから、近隣の同行から煙たがられ、仏法聴聞に熱心だった称名寺の住職や同行からも愛想をつかさされました。

ただ、称名寺の住職は、吉兵衛の聴聞に打ち込む心根をしつかり見て、本物を求めていることを知っていました。そのため、称名寺の住職は、吉兵衛に、「お前にあうお方は大坂の備後町の西方寺殿よりほかにはない。あの人は

学者の信者である」と教えました。すると、吉兵衛は、
「そうして知らして貰うと、なんでも早うあいたいものやと思うていた。その後間もなく、この村のしまい風呂(銭湯屋の最後)に入っている、風呂の中で西方寺様の御説教が住吉の松岸寺様に勤まると聞くなり、何日からやと尋ねると、昨日から三日間の御座であると聞いて、うれしうてうれしうて、我家へ帰って弁当を早うからこしらえて出かけて行った。(松岸寺様のある)住吉まで行ったところで、ようやく東が白んできた」と書いてあります。
とにかく、思い込んだら、脇目もふらず飛び込むのが吉兵衛でした。

子と共に

卒業してもいい。
コロナ禍ではありませんが、今年もまた卒業式のシーズンになりました。
昨年、長男に続き、今年も次男が大学を、長女が高校を卒業します。

「あーこれで、子育ても一段落」と思いきや、子供たちの将来への心配は次々と出て、考え出すときりがありません。
そう言えば、昨年亡くなった老院も、なくなる間際まで若い者を心配してくださっていたし、遠い里の親も、いつも心配してくれます。

はたして、子育てに卒業はあるんでしょうか。いつまでも、子供のことが心配で、なかなか子離れができません。
今回で、「子と共に」を終了することが何だか寂しい思いです。
※次号から「お寺とともに」連載



総代会と教化予算委員会開催

令和三年度行事計画案と予算案可決

さる二月二十日、順慶寺にて総代四役と賛助会役員で構成する教化委員会が開催され、コロナ影響下での令和三年度行事計画案と予算案を可決しました。

昨年、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されたため、総代会が開催されて以降、教化予算委員会、護寺会総会は開催されませんでした。

令和三年度も新型コロナウイルスの影響が大きいことが予想されますが、今年一年、コロナ禍の中、如何に順慶寺の諸活動を運営していくかを協議するため、二月十八日の総代会に続き、二月二十日、教化予算委員会が開催されました。

行事計画案と予算案提出

会議では、本年度の行事について、以下のことが協議され、可決されました。四月の護寺会総会に上程され、議決後に正式決定となります。

- ① 護寺役員年番会（中止）
- ② 蓮師会・護寺会総会（4月23、24日）
 - ↓ 午前中のみの実施（助六はなし）、法話あり
 - ↓ 総会では各自紙を配布せずスクリーンに映す
- ③ 令和3年度護寺会費、墓地管理費

↓ 集金実施

- ④ 護寺会バス旅行（中止）
- ⑤ 盆会（8月7日）
 - ↓ 午後より、法話あり
- ⑥ 祠堂法要（9月12日）
 - ↓ 午前中のみ実施（助六なし）、法話あり

- ⑦ 公開講座（中止）

- ⑧ 報恩講（11月19日から21日、親子報恩講は中止の可能性あり）
 - ↓ 20日、21日 午前中のみ実施（助六なし）、法話あり

- ⑨ 年越し勤行・修正会（12月31日）
 - ↓ できるだけ通常実施 以上

【その他】これらとは別に、境内に時計がないと不便だとの声から、⑩境内用の屋外時計を設置することが了承されました。

アフターコロナの教化指針 教化検討委員会設置

教化予算委員会では、アフターコロナを見据えて、新たに取り組みをするため、検討委員会を発足させました。以下、検討委員会の内容を示します。

- (1) 委員会 15名（正副委員長、護寺会4役、女性役員4名、有識者4名、住職）
- (2) 会議 基本的に月一回程度、ア

フターコロナの教化基本方針を検討
③ 議事

- ⑦ ア寺をとりまく環境の再認識（仏教全体、地域、寺など様々な観点から）
- ⑧ 1月例会の問題点の洗い出し
- ⑨ 大法要での問題点の洗い出し
- ⑩ エアフターコロナの新たな取り組み
- (4) 基本方針採択 令和四年当委員会にて 以上

2月度護寺会物故者

翠紫院釋尼清香

2月7日寂 岡川清美(78)

泉田西組 岡川芳男様の義母

和敬院釋弘寛

2月25日寂 岡本价弘(87)

大久屋前川組 岡本誠様の父

蓮の手入れを実施

さる二月十七日、折からの寒波で底冷えの中、総代OB有志四名（相木義典さん、酒井陽次さん、岡本孝行さん、岡川信行さん）が、今年も蓮の手入れをして下さいました。蓮の手入れは、毎回、蓮の鉢の中を全て



蓮の泥の世話をする皆さん

編集部短信

◆ 門徒会役員を選出ー任期満了に伴い、岡崎教区二十一組門徒会員として、小林正典氏、横山政明氏、岡本知佐子氏の三名を選出。任期は今年三月から三年間。

◆ 護寺役員年番会中止を決定ー毎年三月に実施される、護寺役員年番会は、新型コロナウイルスのため中止とした。該当者には、総代から説明の資料を配布予定。

◆ 四月にタケノコ掘り実施ー新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が自粛される中、屋外での催しとなる、タケノコ掘りは実施予定。賛助会をはじめ、多くの参加を期待。四月中に数回実施するが、今のところ日時は未定。

編集雑記

年末年始の忙しさから、かなり体調不良となり、朝食を修行僧にならって、お粥にするようにしました。数日続いたら、本堂や御内仏で上がったお供さまのお下がりをいただいたためか、体調もすこぶる良くなり、以降、お粥の朝食が定着しました。修行僧の理に適った生活を実感しました（住）。

花粉が飛んでくる季節になりました。家族そろって花粉症なのですが、私の場合には特に鼻水とくしゃみが止まりません。外出しているときにくしゃみをするのとコロナと勘違いされなにかと周りが気になります。花粉もコロナも早く収まってほしいこの頃です（若）。



教化予算委員会の模様（本堂にて 岡川経康氏撮影）



3月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		木-1
5	金		
6	土		
7	日	お勝手検討会(13:30、順慶寺)	
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		木-2
12	金	山ノ端組報恩講(14:00、鈴木基晴様宅)	
13	土		
14	日		
15	月	教化検討委員会(19:00、順慶寺)	
16	火		
17	水		
18	木		木-3
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		木-4
26	金		
27	土		
28	日	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
29	月		
30	火		
31	水	護寺会会計監査・墓地管理委員会	

3月行事内容 詳細

山ノ端地区報恩講

3月12日(金)

午後2時〜 鈴木基晴様宅

毎年三月に、山ノ端同行が集まって報恩講を勤めますが、今回が最後の報恩講となります。

山ノ端同行は、今川町山ノ端地区の真宗門徒で、ご本山のお取り持ちをする相続講や十二日講を取り持ってきましたが、諸事情により相続することが難しくなり、今回で解散となります。

教化検討委員会

3月15日(月)

午後7時〜 順慶寺玄閣

順慶寺の例会などコロナ後の教化事業について話し合うために、順慶寺教化委員会(総代四役、賛助会役員)を母体にして、教化検討委員会を発足することとしました。

教化検討委員会の構成人員は、十五名(正副教化委員長、総代四役、女性役員四名、有識者四名、住職)となっておりますので、今回、正副教化委員長、総代四役、住職で人選をすることにしています。詳細については、次回、寺報にて発表します。

おしらせ

●蓮師会・護寺会総会開催します
昨年、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により、中止(内勤め)となった、蓮師会護寺会総会ですが、本年は基本的には実施する予定です。ただし、日程は四月二十三〜二十四日の二日間ですが、午前のみの日程で、お斎は準備しない予定です。

また、報恩講でお斎のかわりとして出した助六寿司ですが、中止した方が良いとの意見が

あり、協議の結果、取りやめることになりました。

●本年の例会について
昨年自粛した、順慶寺の賛助会・例会ですが、基本的に本年も、屋外の行事、大法要に関連する行事のみ実施とし、それ以外の行事については、自粛とします。

ただし、状況によって変更もあり得ます。詳細につきましては、各役員からの連絡をお待ちください。

じゅんこのときめき歳時記

すみれの花

みなさん、こんにちは。二月の中頃から暖かい日が結構できて、春らしくなってきましたね。でも、春の始めからこんなに暖かいと、ちょっと心配です。

春になると、かわいい紫色をしたスミレの花が、あちこちに咲いているのを見かけます。スミレは、花の後ろの方に、飛び出した部分があって、それが大工さんの使う墨入れに似ているから名前がついたそうです。

昔から、スミレは、小さくてかわいいイメージで、女の子の名前につかれることも多いそうで、囲碁の少女棋士で、仲邑董さんもそうです。

順慶寺では、若奥さんの集まりをすみれ会といいますが、皆さん若々しくはつらつとしてガンバっていますよ、とお父さんが言っていました。

董ほごな
小さき人に生まれたー
夏目漱石

